

平成 17 年(2005 年)12 月 8 日

報 道 各 社 様

市民まちづくり局市民生活部消費者センター

TEL : 728-2111 FAX : 728-2112

年末年始生活物資需給・価格見通しについて

札幌市では、年末年始物価対策の一環として、年末年始時期に需要が増大する生鮮食料品や石油製品などの生活物資の需給動向及び価格見通しについて、関係業界団体の協力を得て、下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

記

1 協力を得た業界団体

- (1) 札幌市中央卸売市場青果部運営協議会
- (2) 札幌市中央卸売市場水産協議会
- (3) ホクレン農業協同組合連合会
- (4) 札幌食肉卸業協会
- (5) 札幌地方石油業協同組合
- (6) 北海道エルピーガス協会石狩支部

2 調査時期

平成 17 年 11 月下旬

3 概要

(1) 青果物類

野菜類は、全般的に生育期の天候に恵まれ生育が順調で、前年並の入荷量が見込めるものが多いが、価格は前年に安値であった品目にやや値上がり傾向が見込まれる。ごぼう・ほうれん草は、安値であった前年より「高値」が見込まれる。レタスは生育が順調であるが年末の入荷量が前年に比べ減少することから「高値」が見込まれる。里いもは前年並の入荷量であるが「やや高値」が見込まれ、きゅうりは入荷量が増えているが、安値であった前年より「やや高値」が見込まれる。みつば・たまねぎは入荷量の減少から「やや高値」が見込まれる。みかん・だいこん・きゃべつ・はくさいは入荷量の増加から「安値」が見込まれる。にんじんは生育が順調であることから、たけのこは中国からの輸入量が増加することから「やや安値」が見込まれる。生しいたけ・れんこん・ばれいしょ・長ねぎ・さつまいもは「前年並」が見込まれる。

(2) 水産物類

水産物は全般的に前年よりやや値上がり傾向が見込まれる。たこは水揚げ量の減少から「高値」が見込まれる。新巻さけは生産量の減少から、いくらは秋鮭の価格が上昇したことにより、飯寿司ははたはたの水揚げ量が減少したこと、いか・赤えびは輸入量の減少から、こんぶは不漁であったため、板かまぼこはすりみ原料の高騰から「やや高値」が見込まれる。味付数の子・まぐろ・はまち・ほたて・たらばがに・スモークサーモンは「前年並」が見込まれる。

(3) 畜産物類

畜産物類では牛肉類の高値傾向が見込まれる。輸入牛肉はオーストラリアでの価格の高騰から、輸入鶏肉はブラジルからのみの輸入であることから「高値」が見込まれる。国産牛肉・国産豚肉は出荷頭数が少ないことから「やや高値」が見込まれる。鶏卵は生産量が増加していることから「安値」が見込まれる。輸入豚肉・国産鶏肉・ロースハムは「前年並」が見込まれる。

(4) その他

もち米(道内産)は作柄が比較的安定していることから、「やや安値」が見込まれる。包装もち・黒豆・生そばは「前年並」が見込まれる。

(5) 石油製品

原料となる原油価格は一時期に比べ下落してきているが、前年同時期と比較し高値で推移している。製品の小売価格はプロパンガスを除き高値傾向となっているが、現在のところ在庫量は十分にあり供給量も確保されており、年末年始にかけては現状の価格で推移すると見込まれる。

4 品目毎の詳細

別紙のとおり

なお、当センターでは、12月19日(月)～21日(水)に、市内のスーパー・小売店に職員及びさっぽろくらしのモニターが出向き、30品目を対象に「年末年始主要食料品小売価格調査」を実施いたします。調査結果については12月27日(火)に公表を予定しています。

平成17年度 年末年始生活物資需給・価格見通し

札幌市市民まちづくり局市民生活部消費者センター

品目	価格見通し	需給動向
みかん	安値	各産地とも生育期の天候に恵まれ食味も良好で、入荷量も増えていることから、価格は前年より安値が見込まれる。
生しいたけ	前年並	原油高の影響から入荷量はやや減少の見込みだが、栽培状況は前年並で生育も順調であることから、価格は前年並が見込まれる。
にんじん	やや安値	天候に恵まれ生育が順調で入荷量も前年並であるが、価格は前年よりやや安値が見込まれる。
ごぼう	高値	生育期の天候に恵まれ作柄が良好で、前年並の入荷が見込まれるが、価格は安値傾向であった前年より高値が見込まれる。
れんこん	前年並	生育期の天候に恵まれ前年並の作柄であることから、価格は前年並が見込まれる。
青 果 物 類 里いも	やや高値	生育期の天候に恵まれ生育が順調で大玉傾向となり、前年並の入荷が見込まれるが、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
みつば	やや高値	生育期の天候に恵まれ前年並の作柄であるが、作付面積の減少から入荷量がやや減少するため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
だいこん	安値	生育期の天候に恵まれ生育が順調で、入荷量が前年に比べやや増加することから、価格は前年より安値が見込まれる。
たけのこ	やや安値	中国産の孟宗筍は生育期の天候に恵まれ生育が順調で、輸入量が増加することから、価格は前年よりやや安値が見込まれる。
きゃべつ	安値	各産地とも生育期の天候に恵まれ、入荷量が前年に比べやや増加することから、価格は前年より安値が見込まれる。
はくさい	安値	生育期の天候の回復により生育が順調で、入荷量が前年に比べ増加することから、価格は前年より安値が見込まれる。
ほうれん草	高値	生育期の天候に恵まれ生育が順調で前年並の入荷が見込まれるが、価格は安値であった前年より高値が見込まれる。
ばれいしょ	前年並	生育期の天候不順で空洞化などの品質の低下が見られるが、おおむね入荷が順調であることから、前年並の価格が見込まれる。
たまねぎ	やや高値	生育期の天候不順で小玉傾向が見られるが、収穫量が減少していることから、価格は前年よりやや高値が見込まれる。

青 果 物 類	長ねぎ	前年並	道内産の軟白ねぎは生育期の天候に恵まれ前年並の作柄であり、道外産も生育が順調で入荷量がやや増加するが、前年並の価格が見込まれる。
	きゅうり	やや高値	天候に恵まれ生育が順調で入荷量が増えているが、価格は安値傾向であった前年よりやや高値が見込まれる。
	レタス	高値	生育期の天候に恵まれ生育が順調で平年並の作柄となるが、入荷量は年末に集中した前年に比べ減少することから、価格は前年より高値が見込まれる。
	さつまいも	前年並	生育期の天候不順の影響で入荷量が前年に比べ減少するが、価格は前年並が見込まれる。
水 産 物 類	新巻さけ	やや高値	秋鮭の漁獲量は前年並みであるが、中国などへの輸出量の上昇により生産量が前年より大幅に減少していることから、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	味付数の子	前年並	原料の輸入が順調で入荷が安定していることから、前年並の価格が見込まれる。
	いくら	やや高値	秋鮭の価格が高値で推移しているため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	飯寿司	やや高値	はたはた漁が平年より2週間ほど遅れており、水揚げが減少傾向にあるため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	まぐろ	前年並	輸入の生鮮本まぐろは前年並の入荷で安定しているため、価格は前年並が見込まれる。
	いか	やや高値	近海での水揚量は昨年並であるが、アルゼンチン等海外ものが不漁のため加工製品への引き合いが強く、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	赤えび	やや高値	海外での需要の増加と水揚量の減少から、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	はまち	前年並	養殖ものが順調に入荷し供給量が安定しているため、前年並の価格が見込まれる。
	たこ	高値	水揚量が減少しているため、価格は高値傾向であった前年よりも高値が見込まれる。
	ほたて	前年並	水揚量が概ね前年並であることから、価格も前年並が見込まれる。
たらばがに	前年並	ロシアからの入荷が安定しているため、前年並の価格が見込まれる。ただし大型の物は価格高騰が予想される。	

水産物類	こんぶ	やや高値	利尻、日高、道南地区が豊漁だった前年に比べ水揚量が減少しているため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	スモークサーモン	前年並	輸入品は製品供給が安定しているため、前年並の価格が見込まれる。ただし、国内加工品は原料の高騰によりやや高値傾向が見込まれる。
	板かまぼこ	やや高値	すりみ原料が高騰しているため、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
畜産物類	国産牛肉	やや高値	現在も高値で推移しているが、出荷頭数の不足と年末年始が最需要期となることから、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	輸入牛肉	高値	オーストラリアで生体での価格が高騰していることと、生産数も少ないことから、価格は前年より高値が見込まれる。
	国産豚肉	やや高値	需要の伸びが見込まれるが、出荷頭数が例年より若干少なく、価格は前年よりやや高値が見込まれる。
	輸入豚肉	前年並	供給量も十分にあり、前年並の価格が見込まれる。
	国産鶏肉	前年並	供給量は前年並にあり、鳥インフルエンザの影響が懸念されるが、前年並の価格が見込まれる。
	輸入鶏肉	高値	現在は、ブラジルからの輸入のみであるため高値で輸入されることとなり、価格は前年より高値が見込まれる。
	鶏卵	安値	生産量が増加していることから、価格は前年より安値が見込まれる。
	ロースハム	前年並	原材料が値上がり傾向にあるが、前年並の価格が見込まれる。
その他	もち米	やや安値	道内産の作柄が比較的安定していることから、価格は前年よりやや安値が見込まれる。
	包装もち	前年並	原料のもち米の生産が安定していることから、前年並の価格が見込まれる。
	黒豆	前年並	各産地ともに作柄が良く供給量が安定していることから、前年並の価格から多少の値下がりが見込まれる。
	生そば	前年並	原料となるそば粉の輸入が安定していることから、前年並の価格が見込まれる。
石油製品	灯油		原料となる原油の価格は一時期に比べ下落しているが、前年同時期と比較し高値で推移しており、小売価格は前年と比較し既に高値となっている。 在庫量は十分にあり供給にも不安がなく、暖冬傾向との予報から需要は大きく伸びないと予想されるが、現状の価格で推移すると見込まれる。

石油製品	ガソリン	灯油同様、原油価格の高騰により、小売価格は前年と比較し既にやや高値となっている。
	軽油	需要も例年並みと見込まれ、在庫量も十分にあり供給にも不安がないが、現状の価格で推移すると見込まれる。
	プロパンガス	原料の輸入価格がかつてなく高騰しており、小売価格が値上がりしている状況であるが、小幅であり前年並みで推移すると見込まれる。 なお、供給量は確保されており供給不足になる懸念はない。

価格見通しの用語基準

前年並 = 前年同期比 $\pm 5\%$ 未満

やや安値・やや高値 = 前年同期比 $\pm 5 \sim 15\%$ 未満

安値・高値 = 前年同期比 $\pm 15\%$ 以上